

各位

株式会社 キッツ

取締役 代表執行役社長 河野 誠
東京都港区東新橋1丁目9番1号
東京汐留ビルディング
6498(東証プライム)

サステナビリティ・リンク・ボンド 2024 年度 CO2 排出量実績

キッツは、[2022 年 9 月に発行したサステナビリティ・リンク・ボンド](#)における SPT (Sustainability Performance Target) に向けた 2024 年度進捗状況 (KPI 実績) が確定しましたので、報告致します。
2024 年度 CO2 排出量は、株式会社日本環境認証機構による第三者保証報告書(限定的保証)を取得しております。

	基準年	実績	実績	進捗(今回)	目標年
	2013 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
Scope1・2 CO2 排出量(t)	65,933t	21,561t	9,284t	7,231t	12,066t
削減率 2013 年度比	—	67.2%	85.9%	89.0%	81.7%

対象： 当社および国内連結子会社

独立した第三者保証報告書（限定的保証）

温室効果ガス排出量

株式会社キッツ 御中



2025 年 6 月 13 日

株式会社 日本環境認証機構

東京都港区東新橋1丁目9番1号

代表取締役社長 河野 誠

株式会社 日本環境認証機構（以下、「当社」）は、株式会社キッツ（以下、「被保証者」）より報告された温室効果ガス排出量について検証を行った。

1. 検証の目的及び範囲

当社は、被保証者から提供された 2024 年度（2024 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日まで）の温室効果ガス排出量について検証を行った。

1) 組織の 2024 年 12 月 31 日時点での連結子会社を含む国内 41 拠点における Scope 1 及び Scope 2 温室効果ガス排出量

検証結果に基づき、組織は検証対象とした温室効果ガス排出量算出の精度を向上させた。

2. 会社の責任

被保証者は温室効果ガス排出量を報告する責任を負う。当社の責任は、被保証者の立場から提供された温室効果ガス排出量に対する検証を説明することにある。なお、温室効果ガス排出量は、排出係数と設備データから決定される科学的知識が不完全なため、固有の不確実性の影響を受ける。

3. 独立性と品質管理

当社は、誠実性、客観性、職業的専門性としての能力と正当な注意、守秘義務、及び職業的専門性としての行動に関する基本原則に基づき（独立性及びその他の要件を含む）、国際会計士協理基準委員会（IAAC）の監査士の倫理規範（を遵守し）、また、当社は、国際品質管理基準（ISO 9001）財務報告の監査及びレビュー並びにその他の保証及び関連サービス業務を行う事務所（品質管理）に準拠して、倫理要件、職業的専門性としての監査及び適用される規則の要件の遵守に関する文書化された方針と手続を含む、包括的な品質管理システムを組織している。

4. 検証手続

当社は、国際保証基準（ISO 3410 号「温室効果ガス報告に対する保証業務」（ISAE 3410））に基づき JACO 基準に準拠して検証を行った。当社は、限定的保証の一種として以下の活動を行った。

- ・温室効果ガス排出量を特定し、算定する被保証者の温室効果ガス排出量のデータ
 - ・温室効果ガス排出量を算定するために用いられた係数（データ）に対し、温室効果ガスの算定方法、データの測定方法、算定方法が採用した仮定、その算定となるデータの信頼性、算定方法の信頼性の検証
 - ・温室効果ガス排出量の正確性を確認するための係数（データ）のサンプリングによる検証
- 限定的保証業務で実施される手続は、合理的保証業務よりも短い範囲と時間が多岐であり、その範囲が狭い。その結果、限定保証業務で得られる保証の水準は、合理的保証業務が実施されていた場合に得られたであろう保証よりも相対的に低い。

5. 検証の結論

当社が実施した手続及び入手した証拠に基づいて、報告された組織の温室効果ガス排出量が、組織の限定基準に準拠して作成されていないと信じる事象は全ての重要な点において認められなかった。

検証された温室効果ガス排出量

2024 年度 Scope 1: 4,820 tCO₂e、Scope 2: 2,411 tCO₂e

以上

【検証の独立性、客観性】 組織と JACO 検証チームは、特約の利害関係がなく、独立した立場で検証を行った。

以上

■この件に関するお問い合わせ先
株式会社キッツ
広報・IR 室
電話 050-3649-2180